

北海道文教大学附属高校

硬式野球部



<http://www.bunkyo.ed.jp/baseball/>

検索

《歴史》

北海道文教大学附属高等学校野球部は、2021年に藤野キャンパスから恵庭キャンパスへ校舎を移転すると同時に創部されました。

元々、野球部は北海道文教大学明清高等学校時代から少人数で活動しておりましたが、学校自体が女子生徒に人気のカリキュラム・コースを設けていたため、男子生徒の数を確保できず、施設設備も不十分であったため満足に活動ができていませんでした。2016年には一度廃部となりましたが、キャンパス移転に伴い、大学敷地内のグラウンドを使用することが可能となったこと、また、各種特待制度の適用部活動となったことを受け、新たに北海道文教大学附属高等学校野球部として活動を再開しました。

チームスローガンに、「素直×努力＝成長」を掲げ、「すべての人から応援される野球部」、選手に「文教大附属を選んでよかったと言ってもらえる野球部」を目指して日々の活動に取り組んでいます。

《チーム方針》

【スローガン】 「素直×努力＝成長」

【指導方針】

純粋に野球を楽しむ態度を尊重し、開放的な雰囲気の中で、選手一人一人が精神的に自律できる環境のもと指導していきます。

勝っているうちは「このチームでよかった」と思ってもらえても、そうでなくなった時にこの野球部に入ったことを後悔させるチームにはしたくありません。結果を求めることは大前提としながら、思うような結果が出ずとも「文教大附属高校の野球部にいてよかった」と思ってもらえるチーム作りを常に意識していきたいと考えています。

当面の目標は、「全道大会出場」。その後、全国の切符を手にするようなチームにしていきます。

文教大学附属高校

野球部の心得

練習態度五則

1. 辛い練習も笑って耐える
1. 練習中は必ず全力でプレーする
1. 自分の気分でチームの雰囲気を壊さない
1. 練習のための練習をしない
1. やればできる 無理だと言わない

成長宣言

1. 発声なくして成長なし
1. 笑顔なくして成長なし
1. 努力なくして成長なし
1. 協力なくして成長なし
1. 自主性なくして成長なし

「ゆとり」4箇条

1. 笑顔で練習 心のゆとり
1. 一步のグッシュ 時間のゆとり
1. 基本を身につけ 技量のゆとり
1. 互いの会話 チームのゆとり

《施設・設備》

メイングラウンド

北海道文教大学野球部と併用のグラウンドです。
左翼側は国道36号線に面しており、右翼側には人工芝のサッカーグラウンドが隣接しています。

練習はこの学園グラウンドと恵庭公園野球場を併用して行います。

1塁側には5か所のブルペンが設けられており、投手はここで投球練習を行います。



室内練習場

大学が有する道内最大級の室内練習場も定期的に借りて、練習しています。



寮



地方生徒のための
学生寮もあります。

※冬季は高校体育館・大学室内練習場・外部室内練習場などを利用して活動しています。

《在籍選手の出身チーム》

【クラブチーム】

石狩中央リトルシニア・恵庭リトルシニア・北広島リトルシニア・札幌北リトルシニア・札幌南リトルシニア・千歳リトルシニア・苫小牧リトルシニア・豊平東リトルシニア・北広島ボーイズ

【中学校野球部】

恵庭恵明・北広島広葉・北広島西部・北広島東部・札幌もみじ台・千歳勇舞・苫小牧啓北

《主な練習と特徴》

基礎的な運動の反復練習を主体とし、パワーベースボールではなく、連携と細かな技術を意識することで、**精度の高いプレーにこだわった練習**を継続していきます。野球は「0.1秒の奪い合い」であることを意識し、シートノックやベースランニングでも、**時間を意識した練習**を徹底します。

また、**定期的に「B P C」(Bunkyo Physical Contest)を開催**します。これは、ベースランニングタイムやスイングスピード、遠投距離などの計測を行うことで、**基礎体力を可視化**し、具体的な数値目標を設定しやすくすることを目的とするものです。選手は、次回のB P Cまでに何をどれだけ伸ばすか日々意識するようになり、一つ一つのトレーニングが意味を持つものになっていきます。また、冬季は雪中練習も積極的に行い、徹底したフィジカル強化に努めます。

ほとんどの練習はチーム全体、ないしは小グループごとに行い、そのグループのノルマ達成を目指して**連帯意識の醸成**も図っていきます。

練習試合は、主に道内のチームと行い、長期休業中に道内に遠征に来る他の都府県のチームとの練習試合も行います。また、春季には道外遠征も実施しています。

《求める選手像》

北海道文教大学附属高等学校野球部では、特に次のような選手を求めます。

必須条件

- 1 人の話を**素直**に聞き入れる選手
- 2 **笑顔**で誰とでもコミュニケーションをとれる選手
- 3 常に**ポジティブ**な言葉をかけられる選手
- 4 **声**を出すことを大切にしている選手
- 5 野球だけではなく、学校生活全般で他の**生徒の手本**となる選手

部活動見学

随時受付中

【お問い合わせ】

野球部監督 中村亮太

Tel:090-4674-1518

北海道文教大学附属高等学校
恵庭市黄金中央5丁目207番11

Tel:0123-25-5570

Fax:0123-25-5571

【協賛企業】

TAKEDAGROUP

武ダホールディングス

H P : <http://www.bunkyo.ed.jp/baseball/>

(本校H Pからもリンクできます)